

### 3. 経営理念

#### 3.1. 経営理念の構成及び用語の定義

定款第3条の目的の条文から、経営理念の策定にあたり、下記の用語の定義を下表にまとめた。

各用語から経営理念の構成は、下図の通りにまとめた。

下表と下図を理解したうえで、次ページの経営理念をご覧ください。

#### 経営理念の構成及び用語の定義（表と図）



理念の種類	要素	意味
Purpose (パーパス) 存在意義	Why なぜ存在するのか？	組織の 社会的存在意義
Vision (ビジョン) 将来像	When・Where いつまでに どこを目指すのか？	目指す姿
Mission (ミッション) 使命	What 何をするのか？	パーパス実現のために 遂行する任務
Value (バリュー) 価値	How どう行動するか？	組織の 価値観・行動基準

#### 3.2. 当法人の経営理念

経営理念の策定にあたり、定款第3条の目的に記載している「豊かな市民社会」とは、一体何なのかを探求することに尽きる。経営理念を次ページにまとめた。

また、のちの定款変更にあたり、定款第3条の目的についても変更を行いたい。

## 特定非営利活動法人やお市民活動ネットワーク 経営理念

### 2025 年度 第 1 回 臨時総会で承認を得た定款 第 3 条（目的）

この法人は、主に八尾市を中心に活動を展開する市民や市民活動団体や民間非営利団体等に対して、自立・発展を促進する社会教育及び環境保全及び中間支援に関する事業を行い、ネットワークを形成し良好なパートナーシップの構築と協働により、命の大切さを意識した地域資源のコーディネートを行うことでもたらす調和された環境を生み出し、もって精神的・物質的に豊かな市民社会の実現に寄与することを目的とする。

### 【 Purpose（パーパス）：社会的存在意義 】

— 命輝く魅力ある人財\*を生み出し、精神的・物質的に豊かな市民社会を実現 —

※ 物やお金が一番ではなく、命が一番大切だと純粋に思う人財または深く信じる人財（地域で魅力のある人財とも呼ぶ）。

### 【 Vision（ビジョン）：目指す姿・あり方 】

— 命を<sup>とうとぶ</sup>尊ぶ\*市民社会 —

※ 尊ぶ：命が一番大切であり、命を敬うこと。

### 【 Mission（ミッション）：使命（パーパス実現のために遂行する任務） 】

— 地域で魅力のある人財\*を生み、つなぎ役の実践者として社会へ提供 —

※ ① 命（地域資源）をつなげ、コーディネートし、調和することにより公益を生み出す人財（つなぎ役とも呼ぶ）。

※ ② 5つの純粋性と多様性の価値観を持ち、行動基準に基づいた実践を行う人財。

### 【 Value（バリュー）：（ 1 ）組織の価値観 】

— 5つの純粋性（共通認識：扇の要）と多様性（扇状） —

- ① 信念：「すべての命（地域資源）は、ひとつにつながる」「つながることで公益生まれる」  
「命が一番大切であり、精神的豊かさが物質的豊かにつながる。」
- ② 夢：自己目標ではなく、社会や人々にどのようにお役に立つかである（大志とも呼ぶ）。
- ③ 思い：「利を得る」自己目標ではなく、社会や人々に「利をもたらす」こと。
- ④ 愛：自己（我・利）のためではなく、命を信じ捧げること。
- ⑤ 公益：「不特定多数に利をもたらす」（地域資源の共有によるライフスタイルの提供）  
みんなが5つの純粋性を大切にする考え・価値観が、共通の土台（扇の要）になることで、  
いろんな人の個性や考えの違い（多様性）が安心して広がり、力を合わせやすくなる（寛容）。

### 【 Value（バリュー）：（ 2 ）行動基準 】

— つなぎ役が果たす4つの役割 —

- ① 「情報提供を行う媒体・サポート」：他者に利をもたらす。
- ② 「解説」：他者の信頼・信用を構築する。
- ③ 「共通認識」：5つの純粋性と多様性を伝え、原点・本質・核心を提供し論し育む。
- ④ 「コーディネート」：命（地域資源）をコーディネートすること。

純粋性と行動基準により、命（地域資源）をつなげ、コーディネートし、調和することにより公益生まれる。